

生誕100年

藤牧義夫展

FUJIMAKI Yoshio: Centennial of His Birth

モダン都市の光と影



2012年1月21日(土)—3月25日(日)

2月21日(火)より一部展示作品が替わります。

休館日/月曜日

開館時間/午前9時30分～午後5時[入館は午後4時30分まで]

観覧料/一般700(600)円、20歳未満と学生550(450)円、65歳以上350円、高校生100円

* ()内は20名以上の団体料金です。 * 中学生以下および障害者手帳をお持ちの方は無料です。

主催/神奈川県立近代美術館、群馬県立館林美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛/ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、日本テレビ放送網

協力/多摩美術大学造形表現学部映像演劇学科研究室

助成/芸術文化振興基金

ファミリー・コミュニケーションの日

毎月第1日曜日(今回は2月5日と3月4日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、優待料金(65歳以上の方を除く)でご観覧いただけます。



The Museum of

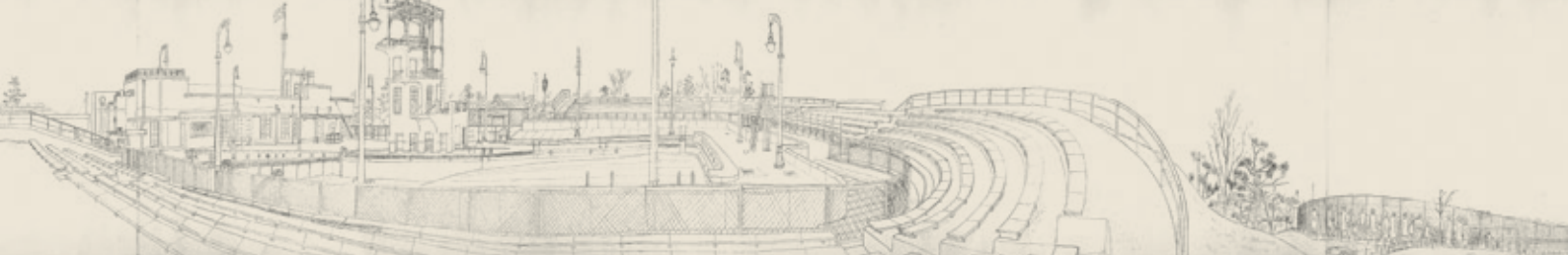
Modern Art,
Kamakura &
Hayama

神奈川県立近代美術館

神奈川県立近代美術館 鎌倉
The Museum of Modern Art, Kamakura

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-1-53
2-1-53 Yukinoshita, Kamakura, Kanagawa 248-0005
Tel.0467-22-5000 / Fax.0467-23-2464
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

《つき》(『新版画』第12号所収) 1934年
木版、手彩色 神奈川県立近代美術館



《白描絵巻(隅田川絵巻)》(商科大学向島艇庫から三國神社まで)部分 1934年
紙本墨画 東京都現代美術館 (展示期間:1月21日~2月19日)

生誕100年 藤牧義夫展 モダン都市の光と影

FUJIMAKI Yoshio: Centennial of His Birth

略 歴	
1911年	1月 館林に生まれる。
1927年	上京し、日本橋浜町の染織図案家 佐々木倉太の門に入る。
1931年	第9回春陽会展に《ガード下のスパーク》を出品。 藤森静雄が藤牧の《朝霧》を優秀作として『きつつき』第3号に掲載。 日本版画協会第1回展覧会に《夜景(中之橋)》、《請地の夜》が入選。
1932年	新版画集団設立に参加。「新版画」第1号発行。 第1回新版画集団展《朝(アドバルーン)》、《あをば》を出品。
1933年	《給油所》が第14回帝展に入選。谷口春郷の銀座スタジオに勤務。
1934年	第1回版画アンデパンダン展に出品。 「江戸と東京 名所風景版画展」に《赤陽》、《夜の浅草六區》、《鐵》を出品。 夏、銀座スタジオを離れ、療養のため館林に帰郷。 秋、上京。田中哲学が主宰する国社会の精華会に加わる。 白描絵巻を制作。
1935年	神田 東京堂画廊で「藤牧義夫版画個人展覧會」を開催。 「新版画」第17号「藤牧義夫特輯号」発行。 9月 失踪。



《赤陽》1934年 木版、手彩色、一部カラージュ 東京国立近代美術館



《朝(アドバルーン)》1932年 木版 東京国立近代美術館



《城沼の冬》1933年 木版 群馬県立館林美術館

藤牧義夫(1911-1935?)は、創作版画の分野で1930年代に活動した木版画家です。1911年に群馬県館林に生まれ、少年期から絵の才能を示し、16歳で上京して働きながら独学で木版画を学びました。1932年に小野忠重ら22名によって結成された新版画集団に参加して頭角をあらわしますが、1935年に行方が分からなくなります。藤牧は、関東大震災後に復興した1930年代の東京の風景を、上野や浅草などの町並みを中心に、独特の彫りによる木版画で表現しました。また、近世の伝統を継承しつつ、現代的な感覚で隅田川などに取材した、最長で16メートルにも及ぶ長大な白描絵巻を描いています。藤牧義夫は、ごく短い制作活動ゆえに幻の版画家として一度は埋もれかけましたが、1978年の展覧会により再び注目を浴びました。

本展は、藤牧の生誕100年を記念して、失踪前に残された版画・素描・白描絵巻・資料約200点で構成し、白描絵巻の全貌を紹介する映像展示など画期的な試みを加えて展観するものです。

関連企画

◆ゲスト・トーク

柄澤齊氏(版画家)

「溶明の人」

2月18日(土) 午後2時~午後3時半

*申込不要、参加無料(ただし「生誕100年 藤牧義夫展」の観覧券が必要です)

◆記念対談

加藤弘子氏(東京都現代美術館学芸員)、水沢勉(当館館長)

「『白描絵巻』を中心に」

2月25日(土) 午後2時~午後3時半

*申込不要、参加無料(ただし「生誕100年 藤牧義夫展」の観覧券が必要です)

◆担当学芸員によるギャラリートーク

1月28日(土)、3月10日(土) 各回午後2時より

*申込不要、参加無料(ただし「生誕100年 藤牧義夫展」の観覧券が必要です)

◆ワークショップ

「どこまでもつづく景色—長い長い紙を使って」

展覧会鑑賞とギャラリートークの後、鎌倉のまちを小さな絵巻に描きます。

2月5日(日) 午前10時~午後4時

対象:中学生から大人

*要申込、定員15名先着順、「生誕100年 藤牧義夫展」の観覧券と材料費(500円程度)が必要です。

*持ち物:デジタルカメラ

◆先生のための特別鑑賞の時間

1月21日(土) 午前10時~午後12時

対象:小・中・高・特別支援学校の教職員 *要申込

※関連企画の詳細や申込方法は当館ホームページをご覧ください。

同時開催

◆神奈川県立近代美術館 鎌倉別館 Tel.0467-22-7718

「開館60周年 日本画 ザ・ベスト・コレクション」~2012年3月25日(日)

◆神奈川県立近代美術館 葉山 Tel.046-875-2800

「ベン・シャーン クロスメディア・アーティスト写真、絵画、グラフィック・アート」~2012年1月29日(日)

「すべての僕が沸騰する 村山知義の宇宙」2012年2月11日(土・祝)~3月25日(日)

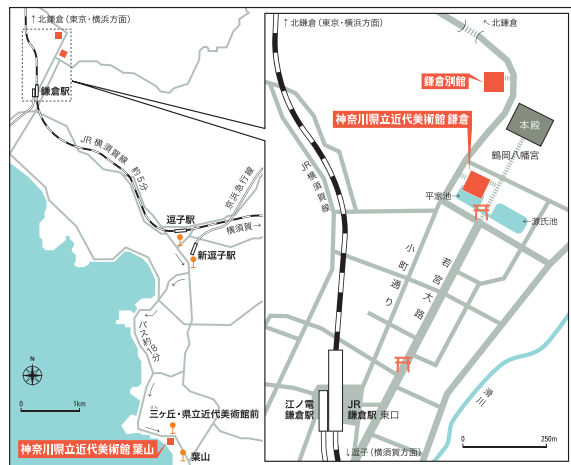
●優待料金のご案内

「生誕100年 藤牧義夫展」有料観覧券(65歳以上券、高校生券を除く)の半券のご提示で、同展覧会中に限り、葉山館で開催中の展覧会を優待料金でご覧いただけます。

●鎌倉館への交通案内

◆公共交通機関利用の場合:
JR横須賀線・江ノ島電鉄線「鎌倉」駅下車、徒歩約10分

◆横浜横須賀道路利用の場合:
朝比奈インターチェンジから鎌倉霊園を經由して鶴岡八幡宮前へ約4km



神奈川県立近代美術館 鎌倉 The Museum of Modern Art, Kamakura

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-1-53
2-1-53 Yukinoshita, Kamakura, Kanagawa 248-0005
Tel.0467-22-5000 / Fax.0467-23-2464
http://www.moma.pref.kanagawa.jp

神奈川県立近代美術館の最新情報は、ホームページでもご覧いただけます。



The Museum of
Modern Art,
Kamakura &
Hayama
神奈川県立近代美術館

